

# 県内初 中心市街地活性化基本計画が認定


## 市街地のにぎわい創出へ

本市の中心市街地活性化基本計画が5月28日に内閣府から認定されたことを受け5月31日、同計画の認定書授与式が首相官邸で行われました。山内隆文市長が渡辺喜美地域活性化担当大臣から認定書を受けました。本市など11市が認定を受け、本市は認定第3号。先に認定された青森市、富山市に次いで、東北で2番目、県内初の認定となりました。林芳正地域活性化担当副大臣が「認定を契機にまちづくりを進め、それが国の活力につながることを期待する」とあいさつ。山内市長が「民間と一体となった計画が認められ、うれしい。全国の中小都市のモデルになるという責務を実感している」と決意を述べました。認定された計画は、平成19



渡辺地域活性化担当大臣から認定書を受ける山内市長

《計画の概要》  
 ダイエー跡地（中町）に、にぎわい創出の拠点となる「風の館」「土の館」を、その周辺に「山車創作体験館」「歴通路広場」を一体的に整備します。  
 ・観光交流センター「風の館」…観光インフォメーション、秋まつりの手作り山車やみこしなどの展示、産食体験コーナー、多目的ホールほか  
 ・物産館「土の館」…民芸品、産直・生鮮食品、レトロ資料展示ほか  
 ・山車創作体験館…山車創作など、秋まつり体験ほか  
 ・歴通路広場…屋台村、イベント、商店街への回遊路



### 危険業務従事者叙勲

【主な経歴】  
 昭和41年久慈市消防署入り。山形分署長、予防係長などを歴任し、平成10年に消防司令。平成11年に退職。「最近は一入暮らし老人世帯の火事が多い。地域のつながりを大切にしたい」とエール。「自身の健康が一番なので、体を大切にしたい」と話していました。



瑞宝章 晴山和彦さん  
 (新井田・68)

現場で危険な業務に精励した方へ授与される危険業務従事者叙勲を、晴山和彦さん(新井田、68歳)が受章しました。



☆中森正一氏から三船十段の書が寄贈されました  
 故・中森正一氏から5月14日、三船久蔵十段の書が寄贈されました。正一氏は大川目町出身で、三船十段とは先輩後輩に当たることから書をもらったとのこと。書は、三船十段記念館に展示し、一般公開する予定です。

☆図書が寄贈されました  
 県建築士会久慈支部(大畑一男支部長)から5月18日、5万円相当の建築関係図書が寄贈されました。国際ソロプチミスト久慈(對馬豊子会長)から6月16日、5万円相当の児童図書が寄贈されました。

## ドクターヘリ必要性実感



ヘリ内の医療機器などが公開されました

戸市、二戸市、本市による三圏域連携懇談会(座長・小林真八戸市長)では6月3日、三圏域をカバーするドクターヘリの設置を目指し、久慈川河川公園でデモフライトを行いました。ドクターヘリは医療機器を装備し、救急医療の専門医と看護師が同乗するヘリコプター。機内で治療をしながら医療機関へ搬送できるため、患者の救命率の向上などが期待できます。時速200〜250キロで飛行することができ、50キロ圏内を15分で移動可能。八戸市民病院を拠点とした場合、二戸市や本市の圏内を約20分でカバーすることができ

この日は約1500人の観客が見守る中、救急車からヘリへの搬送訓練が行われました。家族連れで訪れた藤井純子さん(荒町)は「交通の便



津波避難訓練で自主防衛を

治29年の三陸大津波などを教訓とした津波避難訓練は6月15日、市内の沿岸部を中心に行われました。訓練は同日6時2分、マグニチュード8.1の地震により津波警報が発令されたという設定で行われました。

### 宮城県沖地震の発生確率は99%

国の地震調査研究推進本部地震調査委員会によると、宮城県沖地震(宮城県沖の陸側と太平洋側プレート上での地震)が30年以内に発生する確率は99%です。しかも、その地震が日本海溝寄りと連動した場合のマグニチュードは8.0程度と予想されていて、もちろん津波の発生も予測されています。宮城県沖地震の平均活動間隔は約37年。前回の宮城県沖地震(昭和53年6月)から今年で丸29年が経過したことになります。

## 個人情報保護条例の実施状況

市は、市民の皆さんの個人情報を適正に管理・保護するため、個人情報保護条例を制定しています。平成18年度における各実施期間の個人情報保護条例の実施状況は次のとおりです。

- 個人情報取扱事務の届出件数  
 ◇市長…181件◇議会…5件◇教育委員会…64件◇選挙管理委員会…4件◇監査委員…6件◇農業委員会…2件◇固定資産評価審査委員会…2件◇水道事業管理者の権限を行う市長…3件

※数値は順に、届出事務件数

- 個人情報の開示の請求件数、決定状況  
 ◇開示の請求件数…(開示請求0件/口頭開示請求5件)  
 ◇処理状況…開示5件  
 ■問い合わせ…総務課(内線212)

## 情報公開制度 ご利用ください

情報公開制度は、公正で開かれた市政を推進するため、市の保有する行政文書(文書、図面、写真など)を皆さんの請求に応じて公開する制度です。平成18年度中の制度の利用状況は次のとおりです。

- 実施機関別の行政文書の開示請求件数  
 ◇市長…16件◇議会…0件◇教育委員会…3件◇選挙管理委員会…0件◇監査委員…0件◇農業委員会…1件◇固定資産評価審査委員会…0件◇水道事業管理者の権限を行う市長…2件

- 行政文書の開示請求に対する決定の状況  
 ◇開示…15件◇部分開示…3件◇非開示…0件◇不存在…4件◇取り下げ…1件  
 ■問い合わせ…総務課(内線212)、山形総合支所ふるさと振興課(内線116)

※開示請求件数と決定の状況が一致しないのは、1件で複数の開示請求があり、これに複数の決定があったことによるものです

湊町では、事前に久慈湊地区自主防災会連合会が訓練の参加を地域に呼び掛け、避難場所の金刀比羅神社には、雨の降る中、約190人が避難。避難区域にある久慈湊小学校の児童や家族連れ、近所の方に付き添われて避難する一人暮らし高齢者などの姿も見られました。

統監の山内隆文市長は「湾口防波堤などの整備を進めているが、重要なのは一人ひとりが自らを守るという意識。地域で手を取り合って、避難を呼び掛けてほしい」と訴えました。